

じどうせいと みな
児童生徒の皆さんへ

だい がつ き はじ けんない しんがた かんせん きゆうかくだい
第3学期が始まりましたが、県内でも新型コロナウイルスの感染が急拡大しています。

しんがた かんせんしやう はつせい ちが まいにち みな
新型コロナウイルス感染症が発生してからは、これまでと違う毎日に、皆さんはたくさん
の不安を感じてきたのではないのでしょうか。そのような中でも、多くの方々が、皆さん
が困らないように働いてくださっています。

しかし、残念なことに、そういった方々やその家族、そして感染症にかかって苦しんで
いる人たちが、責められたり差別されたりするといった悲しい出来事が起きています。

この新型コロナウイルスは、誰もが感染する可能性があります。「新しい生活様式」を
取り入れながら、マスクをしたり、手洗いをしたりなど、丁寧に感染防止策をとっていても
感染することもあるのです。もしかすると皆さんや皆さんの身近な人が感染してしまうこと
があるかもしれません。しかし、決して感染した人が悪いわけではありません。

新型コロナウイルスは、まだ分からないことも多く、それがいろいろな不安や恐怖を
引き起こしています。感染自体が恐ろしいのはもちろんですが、この新型コロナウイルス
感染症に関して恐ろしいのは、感染した人や感染対策に関わっている人などを責め
たり、いわれのない不満をぶつかけたりする雰囲気をつくりだしてしまうことです。このよう
なことは、偏見や差別につながります。

皆さんには、差別的な言動に決して同調することなく、次のことを理解して適切な行
動がとれることを望みます。

- 1 誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性があります、感染した人が悪いわけでは
ありません。
- 2 感染した人が悪いという雰囲気ができてしまうと、体調に不安がある人や具合の
悪い人が、「新型コロナウイルスに感染したと思われたくない」という理由から病院
に行くことをためらうことも考えられます。このようなことによってさらに感染が広が
ってしまうかもしれません。
- 3 感染した人を責めるのではなく、励まし、治って学校へ戻ってきたら、温かく迎えま
しょう。
- 4 皆さんは、今、自分ができる予防対策をしっかりと行い、日々の学びを充実させま
しょう。

新型コロナウイルスが広がる社会を「安心して過ごせる社会」にするのも「差別やうわ
さが広がる社会」にしてしまうのも、皆さんや私たちにかかっているのです。今こそ、新
型コロナウイルス感染症について正しく理解し、もし自分が感染したら周囲の人にと
うしてほしいかということを考えて行動しましょう。そして、誰もが安心して生活できる日々
を取り戻すために、共に力を合わせ、支え合っていきましょう。

れいわ ねん がつ にち
令和3年1月15日

きょういくちよう かの よしまさ
教育長 菅野 善昌